

RPI 橋梁マネジメントシステム

橋梁マネジメントシステム

1. 橋梁管理：

橋梁を検索し、地図上の位置、橋梁諸元、点検結果、維持管理計画などの情報にアクセスします。

2. 進捗管理：

5ヵ年計画に基づいて管轄区域の橋梁管理をサポートします。

3. 予算事業計画：

劣化予測、LCC算定等に基づく予算シミュレーションを支援し、中期事業計画立案を支援します。

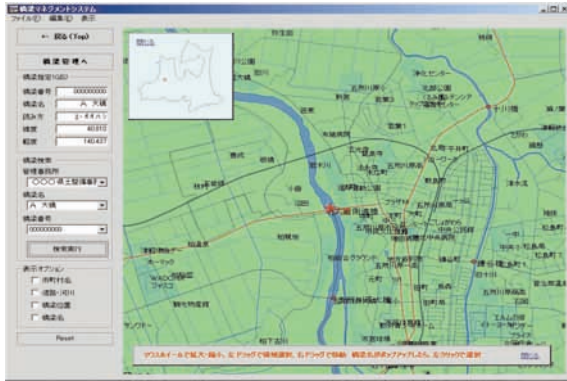
4. 点検・対策データ処理・更新：

点検データや対策データの入出力管理を支援します。



1-1 橋梁管理 (GIS表示)

橋梁管理のトップ画面です。橋梁情報入力の後「検索」して、橋梁諸元、点検結果、計画管理、履歴、文書管理等の情報を引き出すことができます。



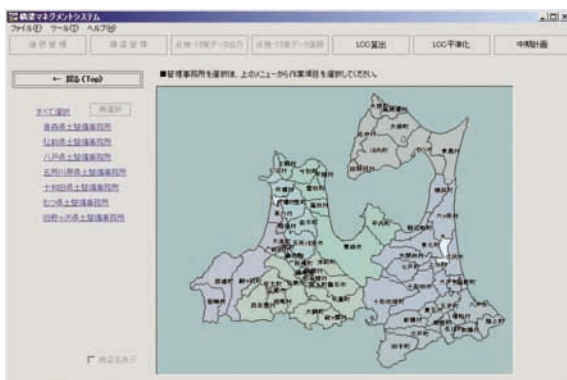
1-2 橋梁管理 / 計画管理画面

これは計画管理の画面です。対策区分の実施状況、5ヵ年の点検計画、対策計画や健全度分布などの情報を見て計画管理の進行状況を確認することができます。



2-1 進捗管理 / 管理区域選択

進捗管理では、橋梁データが管理区域別に保管されています。管理区域を選ぶと、当該区域の橋梁位置を表示した地図が現れます。



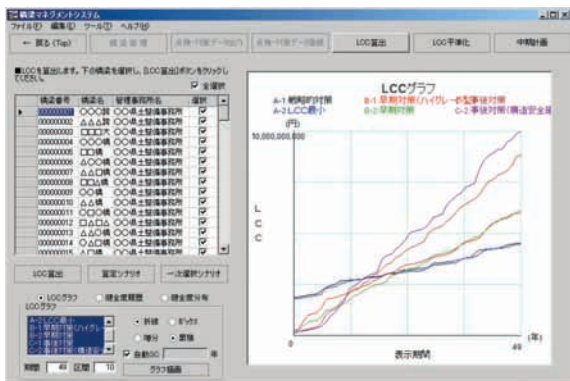
2-2 進捗管理 / 5ヵ年計画進捗状況

進捗管理には各管理区域の5ヵ年計画が収納されており、集計表のセルを選択すると橋梁名が表示され、橋梁名を選択すると5ヵ年計画が表示されます。



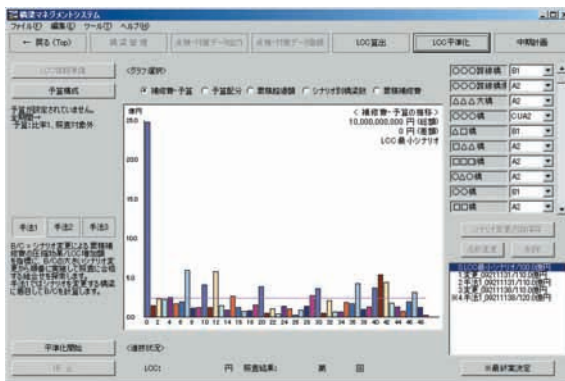
3-1 LCC算出

予算・事業計画のトップ画面から管理区域を選択し、LCC算定画面を表示させ、橋梁名を選択してLCC算定ボタンを押すとLCCが算定されます。LCCグラフを選択してシナリオを選択し、LCCを表示させることができます。



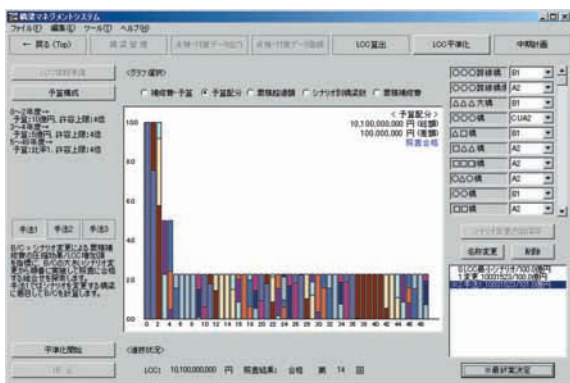
3-2 予算平準化 (平準化前)

予算・事業計画のトップ画面で「平準化」、「LCC情報準備」を選択するとLCCが最小となるシナリオを組み合わせたLCC集計が表示されます。「予算構成」のボタンを押して予算設定条件を入力し「平準化開始」ボタンを押し、平準化の照査を行います。



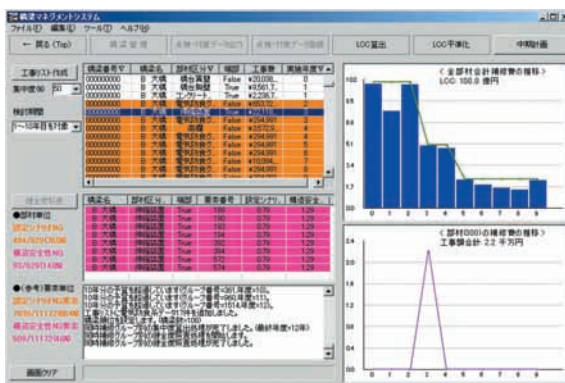
3-3 予算平準化 (平準化後)

平準化の照査とシナリオ変更を繰り返し、設定された予算条件で平準化条件を満たすシナリオ組合せを探し出します。予算設定の条件を変更して、予算制限の中でLCCが最小となる予算設定を見つけ出すことができます。



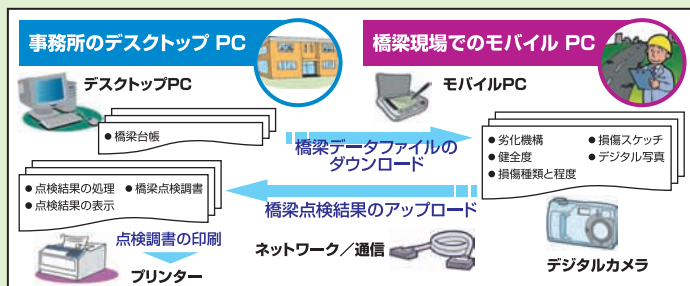
3-4 中期事業計画

予算計画が確定したら、「中期計画」、「工事リスト作成」を選択して、中期の工事リストを作成することができます。橋梁管理者は工事リストを使って容易に中期事業計画を立案することができます。



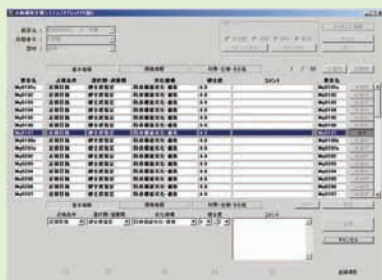
点検支援システム

点検支援システムは、デスクトップPCに収納されたBMSと点検現場で使用されるモバイルPCから構成されます。デスクトップPCに納められた点検データファイルをモバイルPCにダウンロードし、点検現場ではモバイルPCに点検結果と写真関連情報を直接入力します。点検終了後、点検結果をデスクトップPCにアップロードして点検調書の作成と印刷を行います。



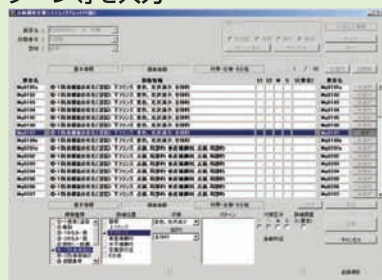
基本情報入力

劣化機構と健全度評価結果を入力



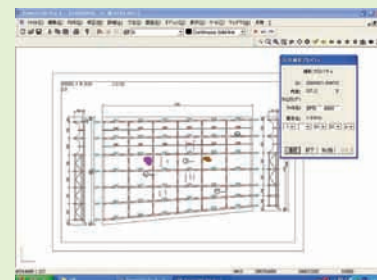
損傷情報入力

損傷種類、詳細位置、状態、拡がり、パターン等を入力



損傷スケッチ図・写真記録

損傷スケッチ図や、写真情報を直接入力



財団法人 大阪地域計画研究所
Regional Planning Institute

BMSコンソーシアム事務局
〒162-0065 東京都新宿区住吉町1番20号角張ビル5階
RPI東京サテライトオフィス内 TEL/FAX 03-5379-0815
E-MAIL conso@rpi.or.jp URL http://www.rpi.or.jp

お問い合わせは